レジメン登録フォーマット

申請年月日	2021/3/1	使用開始日			
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	森田香織	化学療法委員会承認年	2021 年 4 月
レジメン名	GCS療法(胆道がん)(アプレピタントカプセル)				
疾患名	胆道がん	適応の備考			
適応分類	進行再発				
1コース日数	14 日間	総コース数	コース	催吐性リスク	高度
抗がん剤投与量・投与日	シスプラチン25mg/㎡ day1、ゲムシタビン1000mg/㎡day1、S-1 80mg～120mg/body 分2 day1-7				

治療スケジュール ・ 投 与 日 程 (投 与 日 は ●) (day)

投与順	ﾙｰﾄ・方法	薬 剤 名	投 与 量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	側管	ソルアセトF500mL	1	本 / body		●													
	点滴静注	硫酸Mg補正液1mEq/mL20mL	8	mL / body	60 分	●													
		主ルートと同時開始		/															
	シスプラチン開始までに必ず終了する			/															
2	主ルート	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg50mL	1	本 / body	30 分	●													
	点滴静注	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液6.6mg/2ml	1	本 / body		●													
		ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液1.65mg/0.5mL	2	本 / body		●													
				/															
3	主ルート																		
	点滴静注	20%マンニトール注「YD」300mL	0.66	本 / body	30 分	●													
				/															
		100mLすてる(投与量は200mL)		/															
4	主ルート	生食250mL	1	本 / body		●													
	点滴静注	シスプラチン	25	mg / ㎡	60 分	●													
				/															
	シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計250mLとする)																		
	※累積投与量 300mg/㎡																		
5	主ルート	生食100mL	1	本 / body	30 分	●													
	点滴静注	ゲムシタビン	1000	mg / ㎡		●													
				/															
				/															
6	主ルート			/															
	点滴静注	生食50mL	1	本 / body	5 分	●													
				/															
				/															
				/															
	経口投与	S－1	9999	mg / body		●	●	●	●	●	●	●							
		分2 朝夕食後		/															
	(体表面積) 1.25㎡未満 80mg/day																		
	1.25～1.5㎡未満 100mg/day																		
	1.5㎡以上 120mg/day																		
				/															
	経口投与	ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ	125	mg / body		●													
				/															
		抗がん剤の投与1時間前に服用		/															
				/															
	経口投与	ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ	80	mg / body			●	●											
				/															
		分1 朝食後																	
				/															
	経口投与	デカドロン錠	8	mg / body			●	●	●	●									
				/															
		分2 朝昼食後																	

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

Rp3の後に抗がん剤を投与すること

ゲムシタビン:100mLで希釈し、30分で投与。

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。

・day2～5のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。

・day5のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。

ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ:抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。